



懸け橋

2022年10月
第27号

船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーと



どうしたらいいの？

ふなぽーとがあります！



在宅医療支援拠点担当理事

医療法人聖鳥会 にじの空クリニック院長

大塚 佳子



はじめまして。大塚佳子と申します。今年、医師会理事になりました。まだまだ右も左もわからず、おたおたしておりますが、先輩理事の先生方に暖かく見守っていただきながら、なんとか活動に参加しています。ふなぽーとの会議にでて驚いたのは、スタッフの皆さんの船橋市民の方たちを思う気持ちの熱さです！相談の内容を問わず、その方の困りごとをなんとか解決すべく、皆さん真摯に取り組んでいらっしゃいます。私はその心意気に感動してしまいました。

体調が悪いと、病院に行くものだと思いますが、どこの病院の何科を受診するのか、予約はどうとるのか、当日どうやって病院までたどり着くのか、という一見当たり前のことが、実は大変な方もいらっしゃいます。ご自宅でどうしたらいいかわからず、不安で戸惑っている方、またそのご家族のなんと多いことか。「事件（病気）は、会議室（診察室）でおきてるんじゃない！（青島風、古いですね）」ことをつくづく感じます。私は精神科医ですが、メンタルの不調からさまざまなことが起きていることや、身体の病気でも心のことが複雑に絡んでいることもよくあることです。大学病院勤務時代、リエゾン班で仕事をしていたことがあります。リエゾンとは、内科や外科などに入院されているけれど、メンタルの問題がある患者さんについて、主治医、担当看護師、ソーシャルワーカーなど、チームで一緒に考えるという仕事です。その、みんなで考える、関係調整するというのが、私はとても好きだったのですが、ふなぽーとで再び関わられるようになり、うれしく思っています。こんがらがってしまった糸を、一本一本ほぐしていくように、相談員や看護師、医師たちで協力しあい、市民の方が少しでも安心して生活できるようお手伝いしたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。



地域活動、始まっています

9月22日、町会、ふなぽーと、ふなばし市訪問看護連絡協議会の協働で、第1回「ふれあい保健室in高根東町会・助け合いの会」を開催し、ミニ講座や健康相談などを行いました。初の試みで、緊張もあり、予定だった体操をやり忘れてしまったなど失敗もありました。ご参加いただいた皆様には、アンケート結果から「次回も参加したい」という声をいただきました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございます。次回は、皆様の地域にお伺いします。よろしく願いいたします。



在宅医療支援拠点ふなぽーと 総括者だより

訪問看護認定看護師：佐々木 ゆかり

訪問活動を通じて



秋も深まってきました。日頃よりふなぽーとの事業に、ご理解、ご協力ありがとうございます。

今年度も半分終わりましたので、少々振り返りをしたいと思います。ふなぽーとでは、今年度から気になる事例に関して、「看護師等による適宜アウトリーチの実施」が位置付けられました。私自身、長年訪問看護に携わってきたこともあり、ご自宅等に訪問して生活状況を確認し、時には生活の中でのこだわり、文化なども感じられる中での療養相談は、とても有意義であると思っています。

実際に相談者からも「来てもらって安心した」などの感想をいただいています。

相談内容が、聞いた以上に深刻で緊急性があったり、無かったりとアセスメントをしながら、個々に応じたアドバイスをし、適切な連携先につながるような支援をさせていただきます。

何か在宅医療でお困りのことがあればご相談ください。

今後ともよろしく願いいたします。

一般社団法人船橋市医師会受託事業
船橋市在宅医療支援拠点
ふなぽーと

〒273-8506 船橋市北本町1-16-55
船橋市保健福祉センター1階
電話：047-409-1736
FAX：047-409-1912

Mail：info@funabashi-zaitaku.com
HP：<https://www.funaport.com/>
運営時間 平日午前9時～午後5時
(土日祝休)

★お気軽にお問い合わせください。

ふなぽーとの今後の地域活動予定

- ・講話：10月3件
- ・10月30日：塚田健康まつり
- ・11月6日：船橋市健康まつり など

*募集しています

- ・個人・少人数向け「もしバナゲーム」
 - 「大切な人に伝えるノート」を使用した講話
 - ・「ふれあい保健室」（ミニ講座、血圧などの計測、健康相談などを行います）など
- ※皆様の地域で実施してみませんか？
町会や訪問看護師が協働で行います